



感染症週報



小笠原での流行状況

第24週（6月9日 から 6月15日まで）

父島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が5例ありました。

母島 COVID-19の報告がありました。

※ 報告数が5例以上の場合のみ実数での報告としています。

東京都全体での流行状況

第23週（6月2日～6月8日）

【警報・注意報】

なし

【ピックアップ】

★再び増加しています

・百日咳

（累計報告数 1832例）

第23週は
今年最大の
報告数でした

★村内でも報告されています

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

（定点患者報告数 4.43）

★例年より高い水準で推移しています

・咽頭結膜熱

（定点患者報告数 0.52）

・伝染性紅斑

（定点患者報告数 0.83）

・水痘

（定点患者報告数 0.70）

★まだまだ注意が必要です

・流行性角結膜炎

（定点患者報告数 0.49）

髄膜炎菌性髄膜炎

漢字が長すぎて
頭に入りづらいよ

髄膜炎菌性髄膜炎とは、髄膜炎菌という細菌が気道を介して血中に入り髄膜に感染することで起こります。

3～4日の潜伏期ののち、頭痛や発熱など風邪のような症状から急速に悪化し、重症化すると意識障害やけいれんを起こし死に至ることがあります。

特徴① 普段から身近に潜んでる

お尻じゃないよ
髄膜炎菌だよ

健康な人の鼻やのどにすることがあります（約0.4%）。発症するとは限りませんが、誰かにうつしてしまう可能性があります。

特徴② 流行することがある

マスク着用、手洗い、換気などの
飛沫感染対策が有効だよ

くしゃみなどの飛沫で菌が広まります。日本では年間20～40例報告され、寮やイベントなどでの集団発生事例もあります。

特徴③ 発症すると危ない

日本での死亡率は20%弱
といわれているよ

発症した場合、早期に適切な抗菌薬の治療が必要です。治療をしなかった場合の死亡率は100%に近いと言われています。電撃性紫斑病と呼ばれる劇症型の場合は、救命できても四肢の切断などを余儀なくされます。患者との接触者には可能な限り早期に予防投与が行われます。



手洗いと咳エチケットで
感染予防しましょう



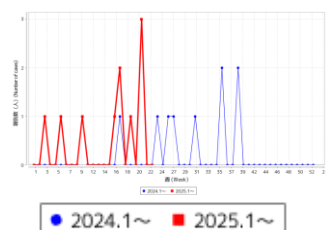
感染症メモ

参考、出典：国立感染症研究所HP、
東京都感染症情報センター、FORTH

東京都では今年、9例の髄膜炎菌性髄膜炎の報告があり、6月時点で2024年の報告数と同数になりました。うち4例が5月に報告されています。

髄膜炎を起こす細菌やウイルスはいくつか種類があります。ウイルス性髄膜炎は比較的軽症であることが多いですが、細菌性髄膜炎は重症化しやすく、迅速な治療が必要です。特に髄膜炎菌によるものは、集団生活をしている場所で流行しやすく、迅速な診断と治療が重要です。ワクチンで感染予防できるので、流行地域（アフリカ中央部）に渡航する場合や、脾臓のない人、寮で集団生活を送る人などは接種を検討しましょう。

髄膜炎菌性髄膜炎の報告件数(東京都)



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い

東京都島しょ保健所小笠原出張所